

# 結城農業かわら版



第130号 令和3年2月20日発行

HPへアクセス↑

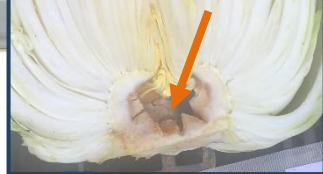
TEL 0296-48-0184 FAX 0296-48-2682



## 厳冬どりハクサイ「CR初笑」の調査を行いました

出荷品質だけでなく根の状態も調査しました

内部に芯抜けがあるかを割って調査



普及センターでは、JA常総ひかり、資材メーカーと連携し、厳冬どりハクサイ品種「CR初笑」(タキイ種苗)の品種特性を確認するCR初笑プロジェクトを行っています。

「CR初笑」は、基部の芯が抜けることでの品質低下が一番の問題です。

本プロジェクトでは芯抜け対策として、普及センターが地力窒素(土中の有機態窒素と硝酸態窒素を合わせた値)を計測し、その結果をふまえた施肥設計を行うことでの減肥栽培や土壌改良資材、適切な定植時期について検討しています。

1月に収穫調査を行い、品質・大きさ、生理障害の有無を計100株調査しました。今後本データと施肥データなどの管理データを合わせ、より高品質なハクサイ生産につなげていく予定です。



# 令和2年産水稻の作柄総括 ～今年は日照とカメムシがポイント！～

## ○気象のポイント



① 7月の低温・少日照

② 8月の高温・多日照



昨年の梅雨入りは6月11日、梅雨明けは8月1日でした。特に7月は長雨の影響で出穂が遅れ、草丈が伸び、もみ殻が小さくなったと考えられます。一方で、梅雨明け後は高温・多日照となりました。日照が多かった影響で登熟は良好に進み、くず米が少なく、前年より多収となりました。

## ○増収と減収のポイント

⊕ 粒は小さいが登熟歩合が高い

⊖ 倒伏しやすかった

⊖ カメムシによる斑点米



このような気象から、徒長気味で実入りが良かったため、8月12日の降雨以降、倒伏が多くのは場で確認されました。

また、今年はカメムシの発生が多く、長雨による出穂時期の遅れ等が影響し、空散防除の効果が劣った可能性があります。このため、5月中旬以降の移植でカメムシ被害が多くなりました。



## ○カメムシ対策のポイント



① 畦畔除草は出穂7日前までには終わらせておく

② 成虫防除は穂が出揃う頃

③ 幼虫防除は出穂後10～14日後

## 水稻の生育ステージ

地点	移植期 (月/日)	出穂期 (月/日)	成熟期 (月/日)
石下	5/5	8/1	9/1
水海道	5/6	7/30	8/31
八千代	5/2	7/28	8/31
結城	5/8	8/1	9/1

## 水稻の収量構成要素

地点	穂数 (本/㎡)	一穂 籾数 (粒/㎡)	登熟 歩合 (%)	千粒重 (g)	精玄 米重 (kg/10a)
石下	398	72	85.8	20.5	525
水海道	458	75	78.5	19.5	564
八千代	334	83	-	19.6	565
結城	374	75	88.7	19.4	661

※毎年普及センターが調査を行っている定点圃場の調査結果



(左：イネカメムシ成虫 右：イネカメムシ幼虫)

## やさいメモ

### 野菜のちょっとした豆知識～ブロッコリー～

アブラナ科の野菜で、キャベツが品種改良され今の姿になったとされています。日本には明治時代に導入されましたが、広く食べられるようになったのは昭和40年代に入ってからでした。

カロテンやビタミンCなどが豊富に含まれます。ビタミンCは水に溶けやすいので、スープやシチューに入れて食べると効率良く摂取できます。

最近では、茎ブロッコリーという茎の部分が長い品種も販売されています。



～農作物の盗難に注意しましょう～

